



### 隊友会が手作りマスクで募集を応援



東京都隊友会台東支部（会長 中曽根麻里氏）は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言発令中の5月中旬、「コロナ禍の今だからこそ、地元で活動する東京地本の台東出張所（所長 武下3陸佐）」と同出張所を訪れる募集対象者の感染予防に役立ててもらおうと、手作りの布製マスクを製作し、台東出張所に提供した。

綿の素材で作られたオリジナルマスクは洗って繰り返し使用でき、通気性も良いため、夏場の着用にも適しているとともに、隊友会の紹介や自衛官募集に関する情報提供を促す案内文が同封されており、広報活動にも一役買っている。個別相談のため台東出張所を訪れた募集対象者らは、隊友会からの思いがけないプレゼントに感謝の言葉を述べ、マスクを受け取っていた。

新型コロナウイルスの感染拡大により、各種活動に制約を受ける中、「今できること」を模索していた台東出張所は、今回の好意を励みに、今後も隊友会をはじめとする関係協力団体と連携しつつ、新型コロナウイルス感染症に起因する諸制約を克服して、防衛省・自衛隊に対する理解と関心を高め、自衛官募集業務に繋げるとしている。

### 東京でも自候生試験スタート～緊急事態宣言解除後、東方初～



自衛隊東京地方協力本部（本部長 岸良知樹陸将補）は6月3日、東立川駐屯地において、東部方面隊管内で初となる令和2年度自衛官候補生採用試験を実施した。

東京地本では、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発出に伴い5月から開始する予定であった自衛官候補生の採用試験を延期していたが、5月25日に緊急事態宣言が全面解除されたことを受け、関係部隊等と迅速な調整を進め、今年度の採用試験を開始することとなった。

試験の実施に当たっては、新型コロナウイルスの感染防止対策として①健康チェックシート等による事前の体調確認、②試験会場入門時の検温・手指の消毒・マスクの着用、③会場内のソーシャルディスタンス（フィジカルディスタンス）確保のための机の離隔やこまめな換気による3密の防止、④会場内の消毒の徹底と受験者が随時利用可能なアルコール消毒液等の設置、⑤面接官と受験者との間に透明シートの設置による飛沫感染防止、⑥必要箇所への整列線の設置による間隔の保持等を徹底し、採用試験環境の構築に留意している。

受験者からは、「採用試験がようやく開始となり安心した」「会場での新型コロナウイルス対策が万全に実施されていて安心して試験に集中できた」等、延期となっていた採用試験の開始に対する安堵の声や受験環境に対する感謝の声が聞かれた。

自衛隊東京地方協力本部は、今後もWebを活用した採用説明会の実施や事務所での個別相談等を継続して志願者の確保に努めるとともに、採用試験の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策を万全にして受験者ファーストの活動により入隊者の確保を図っていくとしている。